



サ ナ 通 信

◆発行 者

株 式 会 社 サ ナ
埼玉県所沢市東所沢和田 1-41-6
TEL 04-2946-2341

◆本社営業部

左記

◆東北営業所

岩手県一関市滝沢字
矢ノ目沢 73-262
TEL0191-26-3737

◆九州営業所

福岡県糟屋郡粕屋町
上大隈 435-1
TEL092-939-3716

《今月のトピック》

★ 年末年始の活性汚泥管理ポイント！

★ トピック 《年末年始の休業中の管理如何で休み明けを安心して迎えられます。》

活性汚泥はご存知のとおり生き物です。負荷の無い工場の休み期間を何もせず過ごすと活性汚泥の処理機能は低下し、休み明けに処理不調を起こすことがあります。

このような経験はございませんか？

- ① 休み明けに処理水が濁る。
⇒**BOD 処理不良**や**活性汚泥フロック**が**バラバラ**になって流出している可能性があります。
- ② 沈殿槽で汚泥の塊が浮かぶ。またはスカム状になる。処理水のpHが下がる。
⇒休み中に**過剰に硝化**が進んでいる可能性があります。

これらの問題は休み中に負荷(汚泥にとってのエサ)が無いことから、フロック形成や BOD 処理を担っているバクテリア量の減少や、フロックを形成していたバクテリアの粘性分泌物がバクテリア自身のエサとして消費されてしまう事、また高 DO や曝気槽滞留時間の増加によって生物による窒素の酸化が過剰に進む事に起因します。

予防策のポイント

1. 曝気量を少なくしましょう。(高 DO 回避)

(曝気槽での汚泥堆積の無いように定期的に曝気を強く入れることも忘れずに。)

(間欠曝気も有効です。散気管の形状によっては間欠曝気が苦手なものがあります。散気管の詰まりを誘発する場合がありますので注意しましょう。弊社までご相談下さい。)

2. 休み前にできるだけ原水を貯留し、休み中にこれを少量ずつ処理させましょう。

3. 産業廃棄物として処理している廃液をこの機会にバクテリアのエサとして処理させる方法もあります。

(場合によってはこれが逆にバクテリアを弱らせてしまう場合がありますので**注意が必要**です。**その際は弊社までご相談下さい。**)

4. サナ栄養源を添加して汚泥活性を維持する方法があります。

サナではこういった問題を抱えられたお客様に安心をお届けするべく、現場経験豊富なスタッフと各種対応剤をスタンバイしております。電話相談から無料現場調査までお気軽にご連絡下さい。

改善プログラム

- i. 活性汚泥維持プログラム ii. 過硝化予防プログラム iii. 透視度改善プログラム

★ ご紹介

サナは畜産分野の脱臭も得意としており、畜舎の臭気を軽減し健康な家畜を育てるとともに地域に愛される畜産経営のお手伝いをさせて頂いております。

★ お知らせ

年末年始の休業のご案内

休業日 12月28日(土)～1月5日(日)

年内製品着が確実なご注文受付最終日は12月20日(金)、年始の発送開始は1月7日(火)となります。

年末年始の備えをお願い致します。